

大学の先生から学ぶ「ポストドクター」授業を行いました。

毎年実施している学位保有者をまねいての「ポストドクター」授業ですが、今年度は近畿大学非常勤講師の蚊野先生に来ていただき、「知の深化」というテーマでグリム童話について学びました。

1年生では、自分の知っている絵本やアニメが原作とは異なることに驚きを感じ、もっと他のお話についても調べてみたいといった生徒の感想が多くありました。

2年生では、グリム童話についてグリム版、平成版のそれぞれ書き換えられている部分に着目し、その理由の考察をスライドにまとめ、発表しました。時代背景や国、子供向けへの変化等が関わっていることに気づき、自分なりの考えをもつことができました。

3年生では、グリム童話からヨーロッパ文化の深層を探り、現代にどう通じているかを学習しました。親子関係、きょうだい関係、子ども、恋愛、結婚、男性、女性、巨人、小人、魔女、老人等のジェンダー観やその変貌について考察しました。当時の社会情勢に着目し、今はどう変わっているのか、日本ではどうなっているのかを比較し、スライドを用いて発表しました。

授業以外の時間でも、図書館でドイツ文化やドイツ語の本を借りて勉強する生徒が多かったです。普段の授業とは違う、新たな発見や学びが多くあったように思います。

